

郡山市環境審議会 会議録

会議名 令和2年度第3回郡山市環境審議会
 日時 令和2年11月26日(木) 午前10時00分から午前11時30分まで
 場所 郡山市総合福祉センター3階 研修室2・3
 出席者 (環境審議会委員)
 難波謙二会長、伊藤耕祐副会長、大場真委員、栢場龍子委員、
 高橋敦司委員、滝田良子委員、出村さやか委員、橋本健委員、
 古川雄二委員、三浦吉則委員、湯浅大郎委員(11名)
 (郡山市及び事務局)
 柳沼生活環境部長、羽田生活環境部次長兼環境政策課長
 佐藤環境政策課課長補佐、岩崎環境・エネルギー係長、
 兼子環境エネルギー係技査、中川総務管理係長、
 高橋総務管理係主任(7名)
 欠席者 (環境審議会委員)
 會田久仁子委員、野村徹委員、長谷川啓委員、古谷博秀委員(4名)

傍聴者 0名

- 次第 1 開会
 2 会長あいさつ
 3 議事
 (1) 答申書(案)について
 (2) (仮称)郡山市地球温暖化対策総合戦略(素案)について
 4 その他
 5 閉会

会議内容

1 開会	
2 会長あいさつ	
3 議事(環境審議会条例に基づき難波謙二会長が議長)	
難波会長	議事(1)答申書(案)について、事務局から説明をお願いする。
事務局	資料1「答申(案)概要」及び資料2「答申書(案)」により説明。
出村委員	誤字だと思うが「答申(案)」概要2(1)、「答申書(案)」3Pの「相方向」は「双方向」ではないか。
事務局	修正する。
伊藤副会長	「DX」とか「KPI」というのは一般市民がすぐわかるような用語か。「答申書(案)」(3)タイトルに「KPI について」とあるが本文中に(重要業

	<p>績評価指標)と書いてある。これがタイトルの中にあった方がわかりやすいのではないか。</p> <p>「DX」の説明はあるか。私も「DX」の中身をあまり良く知らない。年配の方は「SNS」さえわからない方もいて当然だと思うので解説が必要ではないか。</p>
事務局	<p>すべての皆様が理解されているとは限らないので丁寧にわかりやすくしたい。</p>
伊藤副会長	<p>アルファベットで全角と半角が混在している部分は整理をお願いしたい。</p>
難波会長	<p>「KPI を設定すること。」とあるが意味として(重要業績評価指標)とある。日本語であっても難しいところだが、温室効果ガス排出量削減目標達成度合いの指標を数値で表せるものだと思う。具体的にどういふものか候補があるのか。</p>
事務局	<p>昨年度は政策と骨格目標を審議いただき、前回の今年度第2回目は書面審議ではあったが数値目標と KPI(重要業績評価指標)の項目と目標値を審議いただいた。10 年間の最終目標と4年、8年の中間目標数値を見ていただいているがその中に入っている。</p>
伊藤副会長	<p>「答申書(案)」3P 図2の横軸、2030年度の位置は修正を要するのではないか。2013年から2030年は17年、2030年から2050年は20年であるため、だいたい半分の左ぐらいの位置になるはずである。このままでは郡山市が頑張ることにより直線的に減っていくと2050年の前に達成できてしまうとの誤解を与えてしまう可能性もある。市役所が「こんなに頑張っている」という趣旨のものでは無く、正しい危機感は正しく市民に伝えるべきと思う。国の施策どおりでは間に合わず、「郡山市はもうちょっと頑張るのだけどそれでも相当大変だ」というイメージは、決して嘘ではないので正直に出しても良いと思う。もう少し2030年を右の方に持ってきたほうが良いのではないか。数値については、単純計算すると2030年までに40数%減らさないと間に合わないが、実質それはなかなか難しいので、これからの技術的な進歩で加速度的に今後は減るという前提もある程度あってということもあるが、せめて棒グラフの位置だけは正確に表記したほうが良いのではないか。</p>
事務局	<p>正しい本来あるべき位置に表記する。</p>
湯浅委員	<p>「DX」がわからなかったので検索したが、「デジタルトランスフォーメーション」と言うことで、「ITの活用で生活をよくしていく。」という理解でよろしいか。</p>
事務局	<p>そのとおり。</p>

湯浅委員	確かにわかりにくいと思うので、表記によってわかるように全体に気を配っていただきたい。
難波会長	例えば、「KPI」のところであれば、タイトルで重要業績評価指標と記載し、その後ろに(KPI)と書くのが良いのではないかと。答申書ではあるが、本編中には入れてほしい。答申書の性格を考えて必要なことを入れたほうがいいのかと思う。
伊藤副会長	「DX」というものがデジタルトランスフォーメーションとのことで理解できたが、実現することにより、全ての課題解決が図れるかのような誤解を与えぬよう、表現を弱めたほうがいいのか。
事務局	すべてが解決できるかとの観点からすれば、言い過ぎでもあるのでトーンを少し下げたい。
難波会長	総合戦略の中には具体的なこれに該当する記述、事業は入っているのか。
伊藤副会長	具体的に、デジタルトランスフォーメーションをやることにより、こんな部分が解決すると一言入れたほうがいいのかと思うが、具体的なイメージはあるのか。
事務局	「DXの実現」という記載の中で、形容詞的に使われている「非接触型の情報ツールであるLINEとかTwitterなど」といったものを活用しながら、特に家庭部門、運輸部門がそうだが、一人一人の家庭に行動様式、行動変容を促すというところが一番のポイントとなるため、具体的な施策、事業として、今までは、「クールチョイス」であれば、人の多く集まるイベントに出かけ「こういうことをやっていますので是非ご賛同ください。」と周知してきたが、コロナウィルスの影響で生活様式自体が変わらざるを得ないという状況にある。これを契機として捉え、例えばSNS又は動画といったところを最大限に活用しながら、行動変容に結びつけ、促進するといった事業に計画の方も少しずつ変えていきたい。そのような内容の趣旨を素案の中でビジョン的に記載している。それを受け、毎年度、予算の裏付けとして編成作業を行っているため、別冊として示していきたい。
伊藤副会長	理解できた。前の段落である「答申書(案)」2Pの「その普及・啓発を積極的に推進し、」を受けているとの考え方でいいか。そうすると「課題解決」というよりは「普及啓発を促進する」という言い方がいいのではないかと。
湯浅委員	「答申書(案)」の6P、「答申(案)概要」にもあるが、3の(3)「一般廃棄物排出量の削減について」、環境部長から生活環境部が環境部に名称変更するという話があり、より広い概念ということによろしいかと思

	<p>うが、ただし、生活という観点からの対策がすごく大事だと私は思っていて、生活様式の変更であるとか、行動変容を促すということは、そのとおりだと思うが、データ5に示されている「市民一人一日当たりのゴミ排出量」が中核市平均と比べてこれだけ多いということの原因がどういふところにあつて、これが本当に行動変容だけで大丈夫なのか、今の分別の方式自体がちょっと市民に分かりにくいのではないのかといったところから、もう一步踏み込んだ、個人的には有料化も視野に入れてということを一貫してお話している。一気にそこまでいかないにしても、お年寄りには、紙と分別するためにプラスチックを外して、さらに郡山の場合は牛乳の紙パックのようなものの中にアルミ箔が貼つてあるものを分けなければいけないなど、現実的に非常に難しい分別方式を市民に求めている。答申書に詳しく書き込む必要が無いと思うが、そのあたりをもう少し担当として一步踏み込んだところを書き込めないのかということについて確認したい。</p>
事務局	<p>指摘のあつた郡山市のごみの排出量は中核市平均よりも20%以上多い。グラフでは家庭系ごみと事業系ごみが混在している。福島市といつても最下位争いをしているが、家庭系ごみだけを取り出すと福島市よりはかなり少ないという状況もある。有料化については、昨年から廃棄物減量等推進審議会で審議いただいているところであり、この戦略の環境審議会からの答申を11月30日に予定しているが、同日に廃棄物減量等推進審議会から中間答申をいただくことになっている。内容は一気にごみを有料化することはなかなか難しいため、廃棄物の中の粗大ごみについて、まずは有料化を図る。一方、有料化を求めるのであれば、しっかり分別や、ゴミの減量化について、リサイクル、リユース等の施策を同時に進める。然るべき後に、今後の状況を把握した中で審議して最終的な答申をする、となっている。</p> <p>分別の手法、リサイクルについては、郡山市では13種類に分けて回収している状況だが、特に他の自治体と比べると、本宮市、二本松市は19種類であり、他の市町村についても郡山市以上に分別を徹底しているという状況がある。逆に言うと現状の周知や手法のPRが圧倒的に足りないと考えているので、現状を知っていただくため努めていきたい。</p>
伊藤副会長	<p>今の説明を聞いて分からない点は、データ6はなんのためにあるのか。家庭系及び事業系廃棄物の分別に関するデータでもないようなので、(データ6)と記載がある本文中の位置がおかしいのではないのか。これはどういう関係のデータか教えていただきたい。</p>
難波会長	<p>善意に解釈するなら資源物が生活系ごみの中に入っているので資源物を分別する。分別するといふところに重点があるとの解釈ではないか。</p>
伊藤副会長	<p>分別しているといふ意味か。</p>

事務局	<p>ごみ集積場から回収したごみをピックアップして中を見ると、11.9%の資源物が燃やしてよいごみの中に入ってしまった。通常分別を徹底すれば、本来、11.9%のゴミは資源物として回収ができる可能性があるということを示している。</p>
伊藤副会長	<p>問題点を明らかにしているのであれば、(データ5)の記述で「早急に対策を講じる必要がある。」という文の一部としてこのデータ6を紹介しないと位置付けがぼやけてしまうのではないか。家庭系ごみの中に資源物がこんなに入っていますよという問題点を明らかにして、だから分別を徹底するということに結び付くので、「早急に対策を講じる必要がある。」に結び付くように説明したほうがいいのではないか。</p>
大場委員	<p>2点ある。一つは前回提案した、温暖化対策というところから、世界的なスタンダードになりつつある気候変動対策と名前を変えていただいたことは非常に進歩なのかなと思うが、具体的に見ると対策の方向性として「答申(案)概要」2(4)に「新型コロナウイルスの対策を踏まえた取り組み」となっているが、これだけではなく、もう少しその全庁的に対策組織ということもあるので連携し取り組んでいくとか、すべてコロナだけが永遠に続くわけではなく、十年の計画なので、少し実態に合わせた書きぶりにすると思う。</p> <p>もう一つは、本質的で心配なので念のために聞くが緩和策の基本としては、エネルギーを減らすということ、電化したり効率化したりすること、最後に再エネの導入と思うが、そのロジックがぼやけている。電気自動車というのはよくわかるが、他の KPI もいろいろと減らすということでは、先進的にクールチョイスでアプリを作るとか、そういった取り組みを含めながら減らす、電化していくということを書いたほうがいいのではないかと思う。</p> <p>再エネの導入に関しては何度も説明があり、「答申書(案)」6P(2)に「再生可能エネルギーを導入するとともに」とあるが、目標値として排出係数を選んでいることが個人的に気になる。原子力発電の利用によっても排出係数は減るので、「再生可能エネルギーの導入によって排出係数」を減らすとした方が、皆さんは安心すると思う。</p>
事務局	<p>明確に書く。新型コロナウイルス感染症対策では、全体的な手法として非接触型の行動変容を促すような PR や情報発信というものに結び付けていきたいということと気候変動適応計画中の都市型対策の変更部分について少し明確に施策として盛り込む。</p>
大場委員	<p>その辺も強調していただきたい。</p>
難波会長	<p>排出係数は「少ない」というより「小さい」がいいのではないか。</p>
大場委員	<p>大小であり「小さい」の方がいい。</p>

伊藤副会長	<p>国際単位なので「kw」の「w」を大文字に修正してほしい。</p> <p>「答申書(案)」4P(4)に「新型コロナウイルス感染症が広がりを見せる中で」とあるが、これをきっかけとして、ポストコロナとして色々な様子が変わりそうというところが「新しい生活様式」に結び付くという趣旨と思うので「広がりを見せる」というよりは「きっかけとして」という書きの方がいいのではないか。「新しい生活様式」の前に「ポストコロナ」とか「コロナ後の」と入れた方が、これをきっかけにずっと社会が変わっていくという、今、色々な世界中で言われているトレンドに乗った感じになるのではないかな。</p>
難波会長	<p>議事(2)(仮称)郡山市地球温暖化対策総合戦略(素案)について、事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>素案説明前に第2回審議会(書面審議)における委員からの意見及び意見に対する事務局回答の概要について報告。</p> <p>資料3「(仮称)郡山市地球温暖化対策総合戦略(素案)について」、資料4「(仮称)郡山市地球温暖化対策総合戦略 目標設定とロードマップ(案)」、資料5「(仮称)郡山市地球温暖化対策総合戦略(素案)」により説明。</p>
栢場委員	<p>新聞で職員グループの温暖化対策の調査検討会が設置されたと読んだが事務局は入っているか。</p>
事務局	<p>4月1日から食品ロス削減推進担当を発令されており、関係する部局の次長職のものが当初3部局、追加で4部局、合計7部局で連絡会を立ち上げ、その中にワーキンググループで直接担当職員を配置している。具体的に食品ロスの削減に向けた施策や調査、検討を進めていくといった形になっている。</p>
栢場委員	<p>活躍を期待する。</p>
出村委員	<p>「答申(案)」の数値目標と KPI は「(素案)」のどこを見ればわかるのか。</p>
難波会長	<p>答申書に「KPI を設定すること。」とあるので、ここに設定しましたというのが明瞭にある必要があると思う。</p>
事務局	<p>数値目標は、温室効果ガス排出量削減目標であり、「(素案)」39P になる。KPI の目標については 57P の表以下に記載がある。</p>
出村委員	<p>「(素案)」34P の3(1)市民の役割、(2)事業者の役割と記載があるが、前の計画ではもう少し具体的な行動例が示されていた。そういったものは特に示さず、このアとイを目標にするという感じか、或いは、記載</p>

	<p>があるのか。</p>
難波会長	<p>市民の行動に期待するというか、役割の記述、積極的参加であるとか、日々の生活の注意事項であるとか他に記述があるのか。</p>
事務局	<p>各主体の役割という形で明記をしているところは、34P、35P にそれぞれの役割という形で記載しているが、それを踏まえ、各施策の方にビジョンとして、例えば、事業者との連携や市民の行動変容を促すような施策といった形での表現をしている。</p> <p>役割についてはここだけの記載となるが、具体的に書いてある対策、施策については、市民、事業者、行政、全部がやれることも記載してある。省エネに関しても、行政がやることもあれば、市民やること、事業者がやることもあるので、全員がやってほしい。ただ、どういう方向性でやってほしいかということで、ここで3つを具体的に書いて、その方向性は示したが、どういう行動かということは、具体的な対策で自分に関わるところがあればやるといった形になっている。どちらかという包括的な表現をしたいというよりは、具体的な踏み込んだ形でそれぞれの対策、施策の方に示している。</p>
栢場委員	<p>ゴミの分別だが、実際に分別をするのは主婦、女性であるが、そういう方たちの会というのはあるか。また、今後作る予定はあるか。</p>
事務局	<p>女性目線という観点での質問と思うがそのとおりであると思う。先ほどの食品ロス削減推進担当のセクションでワーキンググループを作っているという話をしたが、食品ロスはどこから発生するかというやはり台所がポイントになると考えているので、8名いる職員のうち5名を女性の若手職員で構成している。女性目線の観点で食品ロスを具体的に提案、提言、検討していくという趣旨でそういう構成とした。</p>
出村委員	<p>「(素案)」65P で PDCA を回しているが、企業では Action の段階で KPI を見直したり、施策は当然見直したりする。ここでいう PDCA を回すということは施策の変更だけなのか、必要に応じて KPI も変えていくのか聞きたい。今までの審議会でも、時代の変化で、この目標値はどうであろうという意見が複数回出ていたことを記憶しているので、4年ごとに見直すのだろうが、4年間の中でも、少なくとも KPI については見直してもいいという気がするかどうか。</p>
事務局	<p>環境基本計画等の実績評価の審議でそういう意見が出ていたことを記憶している。目標年度については、国際的な規格の部分あり 10年としているが、4年を迎えたときに KPI や数値目標が足りない等の問題が出てくる可能性もある。今回 10月に菅首相が CO₂削減賛同を表明されたことでかなりの状況が変わってきていると考えており、国内外の状況を踏まえて4年と限らず必要であれば毎年見直し、当然、施策は予算があることから事業の裏付けについては毎年見直すので、そういったものも併せてやっていく。</p>

大場委員	<p>コメントになるのかもしれないが、資料3を見ると、「将来像」というのが当然ながら大事なところで、削減するというのが非常に目玉であることは理解するが、郡山市ならではのポイントとして、「リゾーム型施策体型」というのがある。これは失礼だが、全国的に見ても例がほとんどなく、非常に先進的なことをやられているはずだが、何かよくわからない。つまり、普通、施策はツリー型でつくるということは当然行政の方は皆様ご存じだと思うが、普通の人にとっては何のことなのかよくわからない。元々のものがわからないのでリゾーム型がどれだけすごいのかということのアピールすることができないと思った。そのため、どうすればいいか提案はないが、少なくとも「相乗効果」とか「連携する」とか「有機的」とかその辺をもう少しわかりやすく、それはなぜDXと関係しているかなどを、折角これだけの量をつかっている場所なので、有効活用したほうが良いという気がした。是非、先進的な取り組みなので。</p>
事務局	<p>リゾーム型については、ツリー型と違い、樹木の幹枝のように一つの体系の中に事業がそれぞれ独立してあるといったイメージを受けると思うが、事業が色々な目的のためにあり、その目的はそれぞれ一つになるが、側面的には目指す方向が、ここでいう柱となる意味合いがあるという形になる。これを裏返すと指摘いただいた部局内のいわゆる縦割りが見て取れると思う。内部の状況にもあるが「連携」等のキーワード的なものを入れながらわかりやすく説明していきたい。</p>
大場委員	<p>「REIF ふくしま」、「庁内ワークショップ」、「バスツアー」等いろいろ書いてあるが意味が分かりづらいので、国立環境研究所として、手伝えるところは手伝いたいと思う。</p>
難波会長	<p>図についての詳細な説明はするのか。具体的な「バスツアー」が例えば5つの施策体制(丸)にどのように関係するか、その比率がどうなのか等、イメージが伝わるようなものは。</p>
大場委員	<p>もう少し整理してほしい。例えば、産業政策課と一緒に連携されているということを言いたいのだと思うので。</p>
難波会長	<p>「クールチョイス」とあるが、クールチョイスの指針もこういうところから出てくるのだろうと思うが、分かりにくいと思っていた。イメージは伝わってくるが、構成要素それぞれがどうしてここにあるのかということが、その場所に書かれているのかというのをイメージするのはそう簡単ではないように思う。</p>
大場委員	<p>欲を言うと市民に見せても理解できる図であれば、我々も流用しやすい。</p>
栢場委員	<p>日本中が真っ黄色になっているセイタカアワダチソウはあのまま</p>

	<p>にしておいてもいいのか。</p>
三浦委員	<p>セイタカアワダチソウは、原発事故により、浜通りでは水稻をほとんど作らなくなったが、その年のうちに田んぼ一面に生えてしまうという、ものすごく繁殖力が旺盛なものである。何年か経つと自家中毒で、自ら枯れて生えなくなってしまう性質がある。</p>
栢場委員	<p>今盛んで、どこへいっても黄色で、日本の植物が侵されてしまうのではないかという心配があった。</p>
三浦委員	<p>確かに目立つ。繁殖力がかなり旺盛で、作物を作らないような耕地があればどんどん入っていくので目立つというところもあると思う。連作すると毒性物質を自ら作って長らくそういう状況が続かなくなる。</p>
難波会長	<p>外来種も、課題になる場面だが、それはまた別の会で郡山市の環境の全般的な議論のところでもたお願いする。そのような問題意識を持ちながら郡山市の状況について継続して御発言いただきたい。</p>
難波会長	<p>「答申書(案)」2P 図1「(仮称)郡山市地球温暖化対策総合戦略の推進体制」は、今まで使われていた図と一部重なるものなのか、新しい図なのか。郡山市独自のもので「(素案)」11P の図とも少し違う。従来の施策に「地域気候変動適応計画(新規)」を入れ4つとなるが、4つのうち一部は「(区域施策編)」、「(事務事業編)」が第4章 1、2と入っているのでわかるが、その他はどういう風に統合されているのか、或いは、今回、もう対象としなくなったのか、やっていたけれども抜けている部分があるのかということが気になるが、その辺の整理はわかるかところはあるのか。</p>
事務局	<p>3つの計画を集約するのでこの中に入っている。「(区域施策編)」については、市全域のもので最終的なCO₂削減量30%に通ずる。「(事務事業編)」は市内のCO₂排出量であり、率先して市の施策からCO₂排出量削減を図っていくという趣旨でこの中に入っている。「郡山市エネルギービジョン」についてもCO₂排出量削減と経済産業省でエネルギー使用量が1,500ke/年度以上の事業所はすべて報告義務があるいわゆる「省エネ」であるが、再エネで50%、省エネを加味すると使う電力の50%は再エネで賄うという趣旨のグラフも見ていただいたがこの目標の数値はすべてこの中に取り込まれている。図1は基本条例や審議会のテリトリーを図示したほうがわかりやすいというところで、左から基本条例があって、毎年、実績を見ていただく基本計画、更に分野的に地球環境、資源環境、意識啓発、自然環境、生活環境があり、この内、郡山市の環境としては、環境基本計画に入っているすべての分野を指すが、温対法の関係計画の3つ、「(区域施策)」と「(事務事業)」、「エネルギービジョン(省エネビジョン)」、これらと「地球気候変動適応計画(新規)」を集約統合した形のもの。推進体制も一元化して対策推進本</p>

	部と審議会の方で意見提案をいただきながら報告協議をする図示としている。
難波会長	「(区域施策編)」、「(事務事業編)」があって、「エネルギービジョン」が目次でいうと2、3章となっていて、3章は「地球気候変動適応計画(新規)」、これは今までの「エネルギービジョン」には薄くしか入っていなかったものを厚く盛り込んだということか。第5章も「エネルギービジョン」にもあったが整理の仕方が変わるなど新しい課題が入っているということではないか。
事務局	「(事務事業編)」は5章中の率先行動で明記している。
難波会長	答申書については、答申の日程も決まっているので、意見等をお願いしたいが、最終的に今日の意見により事務局と伊藤副会長と私とで重要なところは話し合っただけで決めていただきたい。
伊藤副会長	確認だが「答申書(案)5P データ4の「2020・・・」と記載があるが時期的にどういうグラフか。
事務局	2020の目標値がここに入り、2007は実績値が入る。
伊藤副会長	(目標)と書いた方がいいのでは。
事務局	了解した。
難波会長	答申書の今度の書き換えとしては、今までいただいた修正を加えた上で用意して、委員に送付するという事をお願いする。
事務局	それでは、今委員の皆様から意見をいただいたものについて、事務局で修正等をして、難波会長、伊藤副会長と確認後、30日に答申を行う。答申書は、最終形について各委員へ送付したい。
難波会長	事務局から今後の予定について説明願いたい。
事務局	この戦略策定については、昨年の審議会において概要及びスケジュール等について説明させていただき、本年5月18日に市長からの諮問を受け、御審議をいただいた。 まとめたいただいた内容については、難波会長から話があったとおり、最終的な調整を会長・副会長に一任していただいたので、11月30日に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、審議会を代表して会長及び副会長からリモートで市長に答申をする。 本来、こうあるべきとの答申を踏まえ、この戦略に反映するものとすべきではあったが、策定期間を2年としたため、昨年度末に将来像とその実現を支えまず骨子案を御確認いただき、今年度は目標数値とこれを実現するためのKPI(重要業績評価指数)とそのロードマップ、更

	<p>には、肉付けとなる素案について、意見をいただくことと同時平行の策定スケジュールとなり申し訳なかった。</p> <p>素案に関する意見等につきましては、年内を目安にお受けする。年明けにパブリックコメントの実施を予定しているため、事務局へ問合せいただきたい。</p>
5 閉会	